

平成29年度 不祥事ゼロプログラム検証結果

実施時期	番号	課題と目標	行動計画とその内容	達成状況 (執行確認)	達成状況(検証)
4月	1	業務執行体制の確保	県民の信頼に応え、全体の奉仕者として自覚して取り組むよう、「服務」に関して、注意を喚起する。	実施	○朝の打合せ及び職員会議の伝達で、「服務」に関する点検表を配付、注意喚起し、神奈川県教育委員会～事故・不祥事防止3か条プラス・ワンを確認した。 ○研修会を開催し、神奈川県職員行動指針や電話対応・来客(保護者)対応について確認した。
5月	2	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理支援システムに対応するため、着任教職員を対象に説明会を開催し、入力と点検手順について確認する。	実施	○着任教職員を対象に個別説明の機会を設け、成績処理支援システムのマニュアルの周知をはかり、入力と点検手順について確認した。
	3	個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報等の紛失・流失防止、誤廃棄防止の対策を検討し、徹底を図る。	実施	○定期試験の答案に係る誤廃棄等の防止の徹底や教務手帳の保管について確認した。
6月	4	会計事務等の適正執行	「予算・会計ハンドブック」を全教職員に配付し、会計の適正執行等について確認する。	実施	○「新栄高校 予算・会計ハンドブック」により会計の適正執行等について周知徹底を図った。
7月	5	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び調査書等に関して、マニュアルに沿った作成及び点検がなされているかを担当者間で確認する。	実施	○朝の打合せ及び職員会議での伝達等により、調査書等の作成について注意を喚起した。 ○進学用、就職用調査書等を作成し、マニュアルに沿った作成及び点検がなされているかを担当者間で確認した。 ○上記の取組みにより、調査書に関する教職員の不祥事防止の意識を高めることができた。
	6	法令遵守意識の向上	啓発資料や新聞掲載記事の掲示等により、公務外非行防止を注意喚起し、公務員倫理意識の徹底を図る。	実施	○新聞掲載記事の掲示等により、法令遵守の確保や綱紀の保持について確認した。(5月)
	7	業務執行体制の確保	夏季休業中の部活動における事故防止、熱中症の予防について注意喚起する。	実施	○AEDの講習会を開催し、併せて熱中症の予防や対応について研修した。
8月	8	わいせつ、セクハラ行為の防止	学校におけるわいせつ、セクハラ行為の防止に関する啓発資料を全教職員に配付し、徹底を図る。	実施	○教育委員会不祥事啓発点検資料「STOP!ザ・セクシュアルハラスメント」等を配付して自己点検し、わいせつセクハラ行為防止の徹底を図った。(9、10月)
	9	業務執行体制の確保	管理職による個別面談を行い、職員一人ひとりの状況を把握する。 外部講師による研修会を開催し、事故防止の徹底を図る。	実施 実施	○事故防止に関する校長面談が終了し、職員の状況を把握することができた。(1月) ○外部講師により「生徒への理解と対応について」をテーマとした研修会を実施した。
9月	10	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び調査書等に関して、マニュアルに沿った適正な作成及び点検がなされているかを担当者間で確認する。	実施	○進学用、就職用調査書等を作成し、マニュアルに沿った作成及び点検がなされているかを担当者間で確認した。 ○上記の取組みにより、調査書に関する教職員の不祥事防止の意識を高めることができた。
10月	11	個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報等管理・情報セキュリティ対策の注意を喚起する。また、チェックリスト等による点検を行う。	実施	○啓発資料や点検表により、個人情報等の管理について自己点検し、注意喚起した。(12月) ○職員会議で児童・生徒の個人情報の適切な取扱い・連絡方法について徹底し、実態把握を実施した。(12月)
	12	会計事務等の適正執行	私費会計の中間会計監査を行い、適正な経理処理に努める。	実施	○私費会計中間監査を行い、各会計が適正に処理されていることを確認した。(11月)
11月	13	法令遵守意識の向上	啓発資料や新聞掲載記事の掲示等により、公務外非行防止を注意喚起する。	実施	○公務外非行の防止について、啓発資料により徹底した。
	14	体罰、不適切な指導の防止	啓発資料や新聞掲載記事の掲示等により、体罰、不適切指導の注意を喚起する。	実施	○適切な生徒指導について点検表により確認した。(2月)
12月	15	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び調査書等に関して、マニュアルに沿った適正な作成及び点検がなされているかを担当者間で確認する。	実施	○成績処理支援システムによる適正な成績処理や調査書作成を事故なく行うことができるよう、入力及び点検手順について全体で確認した。また、科目別成績処理シート等を使用した成績処理の点検体制について確認した。 ○成績処理支援システム等の不祥事防止に関する意識を高め、不祥事防止の徹底を図ることができた。
	16	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故・交通違反、酒酔い・酒気帯び運転防止に関する県啓発資料を配付し、出勤、退勤時の安全運転を喚起して、飲酒運転、酒気帯び運転防止の徹底を図る。	実施	○交通事故、交通法規の遵守について点検表により確認した。
1月	17	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び要録、調査書等に関して、マニュアルに沿った適正な作成及び点検がなされているかを担当者間で確認する。	実施	○成績処理支援システムによる適正な成績処理や調査書作成を事故なく行うことができるよう、入力及び点検手順について全体で確認した。また、科目別成績処理シート等を使用した成績処理の点検体制について確認した。 ○成績処理支援システム等の不祥事防止に関する意識を高め、不祥事防止の徹底を図ることができた。
			入学者選抜に関して、研修会や職員会議、打合せ等で事故防止の徹底を図る。	実施	○経験に頼らず、マニュアルを読み込んで入学者選抜に臨むことを研修会や職員会議、打合せ等で徹底し、事故防止に努めた。(2月)
2月	18	会計事務等の適正執行	「予算・会計ハンドブック」に基づき、会計の適正執行等について確認する。	実施	○「新栄高校 予算・会計ハンドブック」に基づく会計の適正執行等について確認した。 ○上記の取組みにより、教職員の会計に関する不祥事防止への意識を高めるとともに、適正な会計処理に対する理解を深化することができた。
3月	19	業務執行体制の確保	年間を通じた行動計画の検証と評価を行う。	実施	○課題における行動計画と内容について年間を通じて学校として組織的に取り組み、事故の未然防止に努めた。

学校長の意見

- 事故防止会議や研修会を通じて不祥事防止の徹底を図ることができた。
- 不祥事防止啓発資料を効果的に活用することができた。
- 外部講師による研修会により、生徒への適切な指導について理解を深めることができた。
- 人権教育校内研修会で人権意識を磨くことも不祥事防止につながるものであった。

課題

- 若手職員の校内研修の一環として不祥事防止研修会を計画すること
- 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故についてヒヤリハット事例を周知し、事故防止の徹底に努めること